

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面	弱	強	指数
思索型	内閉性：孤独な面があり内省するタイプ			48
	客観性：思慮深く冷静に判断するタイプ			71
活動型	身体性：活動的で機敏に動き回るタイプ			58
	気分性：気分で行動に変化があるタイプ			47
努力型	持続性：何事も粘り強くやり通すタイプ			53
	規則性：規則等を重視し行動するタイプ			40
積極型	競争性：競争心が強く積極的に動く傾向			53
	自尊心：自らのプライドを尊重する傾向			66
自制型	慎重性：慎重に見通しをつけて動く傾向			57
	弱気さ：考えすぎて遠慮がちになる傾向			54

●この人の中心性格は「思索・客観性」および「積極・自尊心」であるが、「活動・身体性」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「思索・客観性」及び「積極・自尊心」の人のパーソナリティスケッチ
自分自身を深く内省している人で、豊かな内面性を持っています。着実な発想ながら、面白いアイデアも出てくるタイプです。何事においても、自分なりにじっくりと検討し、結果にこだわらずに全体を把握しようとします。社会への関心もあり、配慮ができる人物です。ただ、人情的に深入りすることは少ないものの、自分と他人を比較して気にすることがあります。こうした傾向は自信を持っている人に多いのですが、他人のいい加減な行動ががまんできず、厳しい発言をしがちです。これらの発言は自分本位に聞こえやすく、このタイプの人をよく理解していない人とは、衝突してしまうことも考えられます。自分さえよければそれでいいという独りよがりな面と受けとられると、社会的な評価が下がってしまうことになりかねません。なかなか自分の気持ちを素直に伝えられないようですが、ときには思い切って打ち明けてみるといいでしょう。おだてに弱く、ほめられるとついその気になって調子に乗るようなかわいいところも見られます。

●もう一方の性格特性
規則や秩序にとらわれず、自由奔放な発想をし、気の向くままに行動することができます。固定概念に縛られていませんから、柔軟な考え方ができます。マイペースで気ままな生活ぶりがうかがえます。自分らしいやり方を好みますが、社会的なルールや取り決めの必要性について、少し考えてみて下さい。

<この帳票の見方>

自己分析シートでは、性格、社会性、意欲の側面から診断しています。
まず1ページ目では、あなたの中心性格を示し、次に日常生活場面での行動傾向を述べています。また、あなたの強み・弱みの把握ができるよう、具体的なアドバイスも記述されています。心理イメージに描かれている顔のイラストは、顔と人間の性格についてよく言われる言い回しをもとにあなたのモニターージュを作成しました。外見적인顔ではなく、心の顔を絵で写し出そうとしたものです。
2ページ目では、具体的な職場場面での対応力、自己評価と行動予測をグラフで示しています。対応力や行動予測は、1ページ目の診断結果より、あなたの行動傾向を予測したものです。
あなたが思う本当の自分とのズレを感じる部分もあるかと思いますが、この診断結果によって、自分を見つめ直し、自己理解を深める機会ととらえて下さい。さらなる向上を目指すには、まず自分自身を知ることが大切です。自分を知り、さらなる向上を目指す手だてとして、ご活用下さい。

2 一般的な場面での社会性

社会性の側面	弱	強	指数
積極性・活発度			59
周囲との協調性			61
責任感・一貫性			46
自分への信頼度			47
指導・指示傾向			66
仲間との共感性			70
感情の安定度合			41
他者への従順性			39
自ら進んで実行			54
社会的自我確立			50

●「他者への従順性」について
他者への従順性とは、常識的行動や業務命令に対する素直さ、順応度を表します。集団の中での行動や共同作業を行うときの、指示、命令系統のスムーズさや統制力などに影響する部分です。この傾向が低い場合は、
▼強く命令されたり、何か言われると内面的に反発したり、ヤル気をなくしたりすること
▼自分の考えに固執することがあったり、必要なルールや規則などを気にしなかったり
といった行動などが考えられます。自分らしさを発揮したり主張することは大切ですが、集団の中では、周囲を見渡しながらかの事の流れや状況を正しく理解し、それに沿った柔軟な姿勢での判断力や対応も必要です。

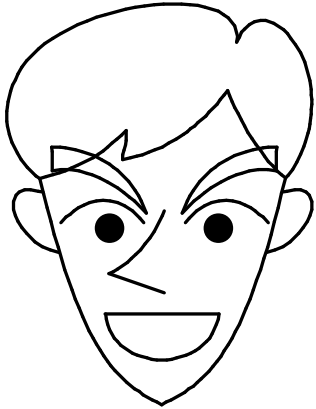
●「仲間との共感性」について
仲間との共感性とは、人間関係や環境に対する適応度ともいえる集団での仲間意識の尺度を表します。様々な場面で仲間と同じ立場で物事を考えることは組織での共同作業には必要なものですが、この傾向が高い場合は
▼周囲の人の意見に引きずられてしまう、自分なりの考えを発言することを得意としない
▼八方美人と見られる言動や行動がみられ、自分の意見を周囲に合わせてしまう
といったことが考えられます。集団での人間関係は仲良しだけでは職務に対する機能が低下します。一歩離れた位置から客観的に全体をながめ、自分の意見を積極的に進言したり、仲間に忠告をすることも必要です。

3 心理イメージ

●心理イメージをイラストであらわすと

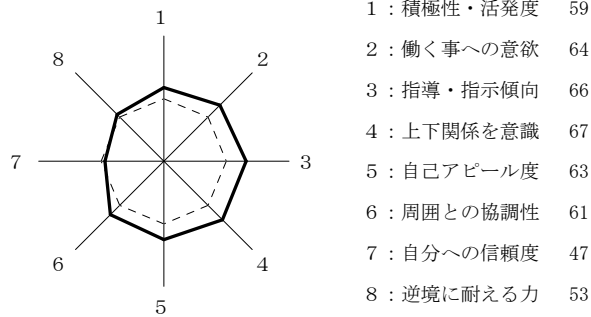
考え深い性格 → 逆三角形の顔
強い言い方に反発 → 眉が上がっている
周囲を引っ張っていく → 太い眉
適度に目標を目指す → 中ぐらいの瞳
新しいものにそれほど飛びつかない → まっすぐな目
目立ちたい → 鼻が高い
人と一緒にいるのが好き → 笑った口元

となり、右のような顔ができあがります。



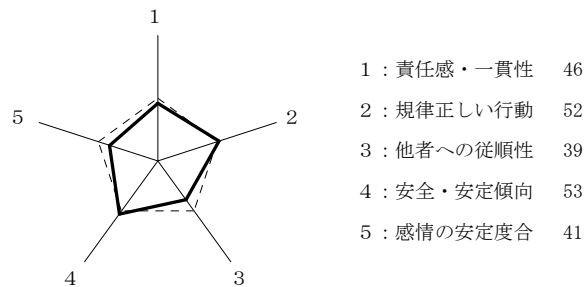
4 仕事場面での対応力

■何事にも積極的な姿勢で取り組む傾向



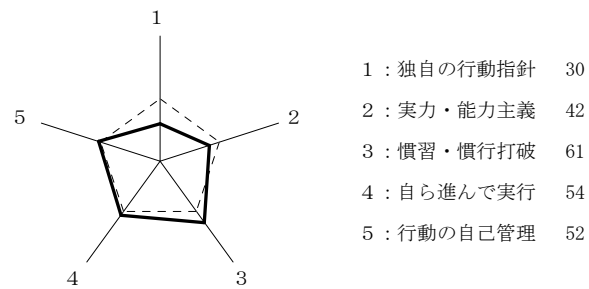
どんなときにも積極的に仕事に取り組もうとしている様子がうかがえます。仕事に対する興味、役割認識などもできているようで、自信を持っておこなっていることと思われます。時間配分や目的達成への計画などにも気を配り、さらに実力を発揮していくよう、今後のますますの健闘を期待します。

■ねばり強く最後までやろうとする傾向



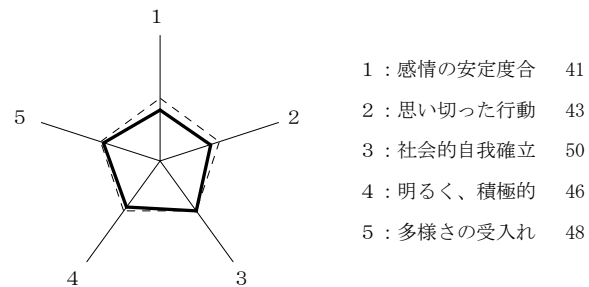
何でも中途半端に投げ出ししてしまうわけではありませんが、興味がなくなったりすると、やめてしまうことがあるようです。最後までがんばりぬくには、手がけていることへの関心や理解を深めていくことも大切です。継続的な努力のためにも、自分の立場を再確認し、果たすべき役割について考えてみるといいでしょう。

■人に頼らず自分の力で成し遂げる傾向



自分の力を信じて先へ進むよりも、周囲に合わせて穏やかに過ごしたい思いのほうが強いようです。ただし、単なる仲良し集団で終わってしまうのではなく、自分らしさを発揮したいならば、気になることや興味のあることを追求していくべきです。ときには周囲の思惑やなれ合い的な態度に背を向けてみるのもいいでしょう。

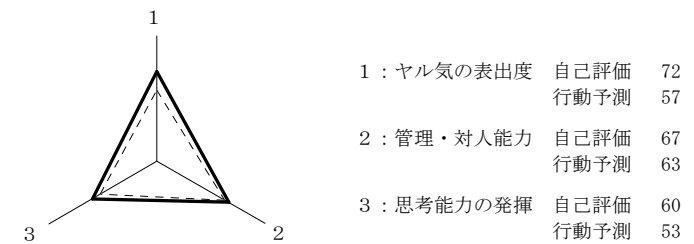
■強い意志を持ち前に進もうとする傾向



何かあると気持ちがしぼんだり、迷ったりするなどして、途中でくじけてしまうこともあるようです。たとえ時間がかかったとしても、自分なりの考えをまとめたものであれば、それほど簡単にあきらめなくなるはずで、応援してくれる仲間を見つけるなど、続けていくための環境づくりから始めてみるといいでしょう。

5 自己評価

■自己評価と行動予測の比較



■ヤル気の出出度について

積極的に仕事に取り組んでいると意識しているつもりでも、せっかくの前向きな気持ちが徒労に終わってしまうことがあるようです。職務内容が十分に理解できていない、周囲との協力関係がうまくいっていないなどということも考えられます。集中できずにいる理由を自分なりに見直してみて下さい。ものの見方を変えることによって、職務行動は変容するものです。周囲の意見をよく聞く、受け持ちの仕事内容の理解を深める、目標を再確認するなど、小さなことから始めてみましょう。

■管理・対人能力について

周りとの関係、特に部下を引っ張っていくことができ、自分でも自信を持って行動しているようです。リーダーとしての役割を発揮する上では、自分の力を信じていることが重要です。的確な判断力、いざというときに動揺しない精神力など、必要な要素は様々ですが、やはり自分自身を評価していなくては、実際の行動が伴わなくなります。ただ、専門的な知識や技術力がなくては、説得力のあるリーダーがつとまりませんから、日々の自己鍛錬は必要不可欠です。ますますの活躍が期待できます。

■思考能力の発揮について

スキル面での自信があり、また新しい企画なども進んで発表していくことができるようです。職場に必要な人物として、高く評価されていることでしょう。自分らしい視点を外部に伝えていき、組織全体の活性につながっています。専門的な知識や洞察力など現在持っている能力は維持するだけでなく、さらに伸ばしていけば、周囲からの信頼もますます高まります。これらは自分の中だけにおさめているのではなく、他のメンバーにも伝えていくことが必要となります。リーダーとしての活躍を期待します。